

多様性の時代、子どもたちにもさまざまな選択肢が必要になってきています。今回は、子どもたちや保護者の居場所づくりをおこなう、「一般社団法人 terra」（天童市）の工藤美季さんと、「とまり木つくる会」（鶴岡市）の菅原晴美さんに、子どもを取り巻く環境と居場所づくりの必要性について伺いました。



とまり木つくる会 代表
菅原 晴美 氏

本業と子育ての傍ら、2019年から子どもの発達障がいについて安心して話せる「とまり木 SALON」を開催している。鶴岡市在住。若者サポーター。

一般社団法人 terra 代表理事
工藤 美季 氏

元小学校教諭。型にはまらない子どもへの教育と支援を目指し、2022年にフルイドスクールや相談事業を開始。ホワイトボードミーティング®講師。天童市在住。若者サポーター。

誰もが受け入れられる、「やさしい」社会をつくりたい

菅原 我が家も三人の子全員が発達障がいと診断されていますが、私はそれをオープンにしています。でも、自分

不登校や発達障がいって、悪いことなの？

工藤 教員時代は、支援学級担任も経験しました。「支援学級の子」と、特別にみられることで親も苦しんでいました。不登校の親も同じですよ。菅原

工藤 教師を退職した後、個人事業でファシリテーション研修等をしていましたが、次第に子どもを取り巻く環境づくりを改善したいと思うようになり、令和4年10月に一般社団法人 terra（テラ）を立ち上げて「フルイドスクール（フリースクール）」を始めました。令和5年2月にクラウドファンディングに挑戦して成功し、居場所の整備などを進めているところです。

菅原 私はボランティア団体「とまり木つくる会」を運営しています。私を含め、「発達障がいのお子さんを育てる親同士で話ができる場所を作りたい」というのが、サロンを始めたきっかけです。令和元年に初めてサロンを開催し、翌年の5月に団体を設立。令和4年には「山形市で同じような活動をした」という方から連絡を頂いて、山形サロンも開始しました。

若者向けの元気応援窓口

若者支援コンシェルジュ

では、こんなことをしています。

若者支援コンシェルジュは、山形県に在住または所縁のある若者の地域活動を応援する事業です。毎日の活動での思い、不安や戸惑い、新たな事業をスタートしたいけど分からないことがある……など、活動には課題がつきもの。一人でも多くの人と課題を共有することで、解決の糸口が見つかる可能性が広がります。

なんでも相談窓口

地域活動に関するご相談を、電話や SNS 等で受け付けています。お気軽にご連絡ください。

☎ 080-4732-3804 (平日 9時～19時)

若者サポーター

地域活動の「困った」を“ちょっと先輩”の若者サポーターと一緒に考えます。詳細は7ページをご覧ください。

若者の交流の場づくり

テーマを決めて気兼ねなく語り合えるイベントを、年6回程度開催しています。ノウハウの共有やゲストの体験談を聞くといった学びのほか、同じような志を持った仲間と出会うきっかけにもなります。



情報発信

地域活動に役立つ支援制度情報や、県内で開催されるイベント情報、若者の活躍の紹介などをさまざまなメディアで発信しています。

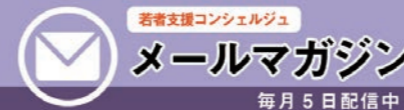
- ウェブサイト「やまがたおこしあいネット」
- 地域活動情報紙「WA-CHA」
- メールマガジン
- 各種 SNS



check!



@wakamonoshienc



いろんな情報が詰まっています!

「やまがたおこしあいネット」

<https://yamagata-okoshiai.net/>



若者支援コンシェルジュ事務局
〒990-0832 山形県山形市城西町5丁目29-19 (AISOHO 株式会社内)
TEL 080-4732-3804 (平日 9～19時) FAX 023-673-0703
令和5年度若者支援コンシェルジュ事業
山形県しあわせ子育て応援部多様性・女性若者活躍課

今号の表紙



「やままる実行委員会」のみなさん

東根市・村山市をメインにマルシェを開催し、町の賑わいをつくる実行委員会。表紙の写真は5月28日に村山市の賑葉プラザで開催した「ふらまる」の様子です。毎回異なる施設や学校などとコラボレーションし、場所ごとにマルシェの名前を変えるスタイルをとっています。「〇〇まる」マルシェには是非足を運んでみてください。

▼代表へのインタビューを掲載しています。(6ページ)